

平成 24 年 7 月 2 日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 中富一郎  
(4571 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CFO兼管理部長/社長室長 中塚琢磨  
電話番号 03 - 3548 - 0217

## 放出持続型ドセタキセル DDS 製剤に関する物質特許が 日本国にて特許査定を受けました

当社が独自開発した放出持続型ドセタキセルDDS製剤（ドセタキセルミセル製剤）に関する特許出願が、日本国特許庁から特許査定<sup>※1</sup>を受けました。本特許査定は、スーパー早期審査<sup>※2</sup>によるもので、迅速な審査により、特許取得を早期に実現する制度を利用いたしました。ドセタキセルミセル製剤に関する物質特許は本年4月に欧州で特許査定を受けましたが、これにより、欧州に続き、日本国内でも特許を確保できることになりました。

【発明の名称】 ドセタキセル高分子誘導体、並びにその製造方法及びその用途  
【出願番号】 特願 2010-513082  
【特許権者】 ナノキャリア株式会社

ドセタキセルミセル製剤は、ミセル化ナノ粒子からドセタキセル<sup>※3</sup>を放出する速度を精密に調整できる画期的な製剤であり、6月11日付既報の通り、胃がんの同所移植モデルで優れた原発巣の縮小効果と副作用の指標となる体重減少の抑制が確認され、また、よりヒトに近いサルで食欲不振などの消化管障害の抑制、骨髄抑制などの副作用軽減が確認されています。

現在は基礎研究の段階ですが、今後、応用研究を含めた更なる試験を行いつつ、抗がん剤ドセタキセルのライフサイクルマネージメントの一環として製薬企業へのライセンス（導出）を進めていく予定です。

尚、本件による平成 25 年 3 月期業績への影響はございません。

### ※1特許査定：

特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定の後の特許料を支払うことによって、特許権が発生することになります。

### ※2スーパー早期審査制度：

特許庁は、権利化のタイミングに関するユーザーの多様なニーズに応えるため、早期審査制度に加え、さらに早期に審査を行うスーパー早期審査制度を試行しています。スーパー早期審査の対象は、実施関連出願に該当するもので、かつ外国関連出願にも該当する、より重要性の高い出願が対象とされます。

### ※3ドセタキセル：

サノフィアベンティス社（仏）よりタキソテール®という商品名で1994年から販売されている抗がん剤です。乳がん、非小細胞肺癌、胃がん、子宮がん、卵巣がん、前立腺がんなどに幅広く使用され、世界で約2,500億円の販売実績がある（2010年度）ブロックバスター（大型）医薬品です。他方、浮腫、骨髄抑制、悪心・嘔吐等の消化器障害、脱毛、肝機能異常、過敏症、全身倦怠感等の副作用があり、患者さんの負担が大きいことも知られています。ドセタキセルは、2011年に特許満了となっております。

以上